



分教室

「土台を固めて」

副室長 進路担当 山崎 浩一

新年度も始まり、まもなく2カ月が経とうとしています。変化を苦手とする生徒たちもいますが、新しい環境にもずいぶん慣れてきたように思います。

変化といえば、分教室だよりの第1号で教育課程について、「社会・職業コース」に特化した職業に関する科目の充実を図るため、時間割を改変したことや、卒業後の自立と社会参加を目指し、日々の学習活動に取り組むといった内容でご紹介しました。そのこともあり、全学年を対象とした「職業」の授業の中で、「職業準備性ピラミッド」についての講義をしました。職業準備性とは、障害の有無に関わらず、働く上で必要とされる基本的な能力のことで、「健康管理」、「日常生活管理」、「対人技能」、「基本労働習慣」、「職業適性」という5つの資質が必要とされています。「職業準備性ピラミッド」は、これらの資質を階層的に整理したもので、ピラミッドの一番下の層から順に備わっていなければ、持続的な就労が難しくなるとされています。

授業の中では、特にピラミッドの土台部分（最下層）となる「健康管理」の部分の説明に時間をかけ、生徒たちに「一日2食の食事はどう？」「遅くまで起きてスマホを触っているのは？」などの質問をすると、健康によくないことを理解した上での理想的な回答が返ってきました。しかし、日常生活と比べると自分はできていないと答える生徒も数多くいました。

ピラミッドの形が示すように、土台が広くしっかりしていなければ、他の層ができていてもピラミッドは崩れてしまいます。まずは土台部分をしっかり築き、少しずつ上層部を積み上げてほしいと思います。このピラミッドの構築は、生徒の努力はもちろんですが、ご家庭の協力が必要となってきますので、引き続き学校へのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

「職業準備性ピラミッド」については、1年生の進路説明会で保護者の皆様にもお話しさせていただいています。また、生徒にプリントを配布していますので、一緒にご覧ください。



※新しい分教室携帯が入りました。

070-1792-1657

今まで使用して携帯電話番号も当面は使用できますが、新しい番号の登録をお願いします。